



地域おこし協力隊 OB

菊地 航平

Kohei Kikuchi

出身 宮城県名取市

任期 R3.4~R7.3

Q.協力隊になったきっかけは？

A.大学4年生のときに、河北町の地域活性化に関わる様々な方とお会いし、その魅力的な事業に携わりたいと思ったことがきっかけです！

Q.河北町の好きなところは？

A.地域の方が定期的にごはん会を開いてくださっており、毎回おいしいご飯を食べながら交流する時間、そのあたたかさが大好きです。

活動紹介1

まちの交流人口 関係人口を創出

河北町内の空き家(旧やま商店)を改修し、「民泊やまねこ」という宿泊施設を開業しました。「旅人も、猫も、まちの仲間も」をコンセプトに、旅人が河北町と出会い・関係をつなぐ宿として空き家の先住猫の三毛猫「ちーちゃん」と2人で運営しています。

また、かほくらし社が運営する野菜を楽しむホテル「Bed & Vegetable Kahoku」の開業にも携わらせていただきました。野菜をきっかけに旅人とまちがつながる拠点として、日々

の運営サポートや首都圏からのツアー企画・アテンドも担当し、宿泊だけで終わらない滞在体験づくりを進めています。協力隊時代から、町内に“宿泊”の受け皿が少ないことが課題だと感じていた中で、「民泊やまねこ」「B&V」という2つの滞在拠点が生まれたことに強く可能性を感じています。

さらに、首都圏での河北町PRイベントやSNS発信でも河北町の魅力を発信しています。まずは町に関心を寄せていただき、来訪者だけでなく“応援者”としてまちに関わり続ける仕組みづくり・活動も増やしていきたいと考えています！



活動紹介2

まちへの想いを持つ 実践者の伴走支援

1.山形県立谷地高校 地域探究部

産学連携コーディネーターとして、谷地高校の地域活動を伴走支援しています。これまで支援してきた「かほく探究実践プロジェクト」は生徒会メンバーが中心となって活動を行ってきましたが、今年度からは「地域探究部」となり、18名が入部。まち歩きや地域の生産者・事業者訪問、地域イベント出店、商品開発(「谷地の雫2026(日本酒)」「谷地美人(酒粕石鹼)など」など、様々な地域活動に取り組みました。

2.かほくワインプロジェクト

河北町産のぶどうを100%使用したワインの開発・販売に携わりました。今年度は3種(赤・白・オレンジ)約2100本のリリースと飛躍した1年。少しずつではありますが、ワインを通じた町の魅力発信・生産者還元の体制づくりを進めています。

3.かほくナッツ研究会

山形・河北町から国産ナッツの一大産地を目指す研究会の事務局を務めさせていただきました。現在は農家9人・約720本のヘーゼルナッツを栽培しています。今年度は視察やメディア取材などが多数あり、収穫・出荷までの期待がさらに高まった1年でした。



今後の抱負

ちいさな風が まちを変える

地域に新しい風を吹かせる存在・地域に想いをもつ誰かの背中を後押しできる存在を目指し、ちいさなアクションを丁寧に重ねていきます。平凡な自分に“居場所”と“役割”をくれたこの町に、恩返しができるよう等身大で頑張ります。